

第96回 簿記実務検定第 3 級試験問題 商業簿記 (制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	小 口 現 金	当 座 預 金	普 通 預 金
貸 付 金	仮 払 金	借 入 金	仮 受 金
資 本 金	交 通 費	消 耗 品 費	雑 費

- a. 近畿商店から借用証書によって、現金 ￥800,000 を借り入れた。
- b. 従業員の出張にあたり、旅費の概算額として ￥97,000 を現金で渡した。
- c. 和歌山商店（個人企業）は、現金 ￥1,200,000 を出資して開業した。
- d. 定額資金前渡法を採用している新潟商店の会計係は、月末に庶務係から次の小口現金出納帳にもとづいて、当月分の支払高の報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して補給した。

小 口 現 金 出 納 帳								
収 入	令和 ○年		摘 要	支 出	内 訳			残 高
					交 通 費	消 耗 品 費	雑 費	
30,000	6	1	前月繰越					30,000
合 計				23,800	14,600	5,700	3,500	

2 石川商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

6月/9日 富山商店から貸付金に対する利息 ￥16,000 を現金で受け取った。

(伝票番号 No.52)

〃 日 福井通信社に、広告料 ￥470,000 を小切手#20を振り出して支払った。

(伝票番号 No.83)

3

滋賀商店（個人企業）の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳（略式）に転記しなさい。
- (2) 買掛金元帳に記入して締め切ちなさい。
- (3) /月末における合計試算表を作成しなさい。

- ただし、
- i 商品に関する勘定は3分法によること。
 - ii 仕訳帳における小書きは省略すること。
 - iii 総勘定元帳および買掛金元帳には、日付と金額のみを記入すればよい。

取 引

/月 4日 得意先 奈良商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

B品 250個 @ ¥108 ¥27,000


5日 仕入先 京都商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A品 400個 @ ¥120 ¥48,000

/2日 仕入先 大阪商店に対する買掛金 ¥28,000 を現金で支払った。

/3日 得意先 兵庫商店に対する売掛金の一部 ¥94,100 が当座預金口座に入金された。

/6日 仕入先 大阪商店から商品を仕入れ、次の納品書を受け取った。なお、代金は掛けとした。

No. 0007961	納 品 書	令和○年1月16日		
〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番1号				
滋賀商店	御中	〒543-0042 大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2-9-26		
下記のとおり納品いたします。		大阪商店 		
品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
B 品	250	個	80	20,000
C 品	425	個	40	17,000
合 計				¥37,000

/8日 得意先 兵庫商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 325個 @ ¥168 ¥54,600

C品 350個 @ ¥60 ¥21,000

/9日 得意先 兵庫商店に売り渡した商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

C品 25個 @ ¥60 ¥1,500

次ページに続く

20日 仕入先 京都商店に対する買掛金の一部 ¥52,000 について、小切手を振り出して支払った。

24日 固定電話の利用料金 ¥4,600 を現金で支払った。

25日 本月分の給料 ¥38,900 の支払いにあたり、所得税額 ¥3,200 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。

27日 大津文具店から事務用の文房具を現金で購入し、次のレシートを受け取った。

大津文具店	
大津市御陵町3番1号 電話：077-523-****	
領 収 証	
20XX年1月27日	No.1234
文房具	¥1,900
合 計	¥1,900
お預り	¥1,900
お釣り	¥0
上記正に領収いたしました	

30日 得意先 奈良商店に対する売掛金の一部を次の小切手で受け取った。

ZS0105	小 切 手		全国5001 0914-098
支払地	奈良県奈良市柏木町248 株式会社 全商銀行奈良支店		
金 額	¥60,000※		
上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください			奈良県大和高田市材木町8-3
拒絶証書不要			奈 良 商 店
振出日	令和〇年1月30日	振出人	奈 良 一 郎
振出地	奈良県大和高田市		

4 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

a. 企業は、経営活動をおこなうため、現金・商品・建物・備品などの財貨や、後日、一定金額を受け取る権利である売掛金・貸付金などの債権をもっている。このような企業の経営活動に必要な財貨や債権を資産といい、英語では という。

1. Liabilities 2. Assets 3. Net Assets

b. 簿記では、取引を記帳する方法のひとつとして、取引を二面的にとらえて借方の要素と貸方の要素に分解し、両者の結合関係を記録する方法がある。このように取引を二面的に記帳する方法を といい、借方の金額と貸方の金額は必ず等しくなる。

1. 単式簿記 2. 会計単位 3. 複式簿記

(2) 北海道商店（個人企業）の下記の資本金勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 期間中の収益総額 b. 期首の負債総額 c. 期末の資本金

資 本 金			資 料		
12/31	次期繰越 (<input type="text"/>)	1/1 前期繰越 2,160,000	i	期首の資産総額	¥5,738,000
	<input type="text"/>	12/31 損 益 (<input type="text"/>)	ii	期間中の費用総額	¥6,154,000
	(<input type="text"/>)	(<input type="text"/>)	iii	当期純利益	¥ 259,000

5 三重商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
 (2) 備品勘定および給料勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

a. 期末商品棚卸高 ¥723,000

b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。

c. 備品減価償却高 取得原価 ¥400,000 残存価額は零(0) 耐用年数10年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$